



ながれやましりつ・木のとしょかん

こどもの木+

2014年
冬号
NO. 5



こんにちは。いつも木の図書館に来てくれてありがとう！
さむ〜いふゆ！毛布やあったかいモ/が手放せません。
木の図書館には心があたたかくなる本がたくさんありますよ。
ゆっくりと本を読めばポカポカすることまちがいなし！
さあ、ページをひらいてみよう！



新しいワクワクがいっぱい！ 新刊を読んでみよう！

『ナックの声が聞きたくて！
“スーパー・ベルーガ”にことばを教えるイルカ博士』
村山 司/著 講談社

489

イルカと話がしたい！その夢に向かい、奮闘する博士の20年。
夢を追いかけるって、ステキですね。ナックのかしこさにもおどろかされます。

『オリンピックのアスリートたち 錦織圭』
本郷陽二/編 汐文社

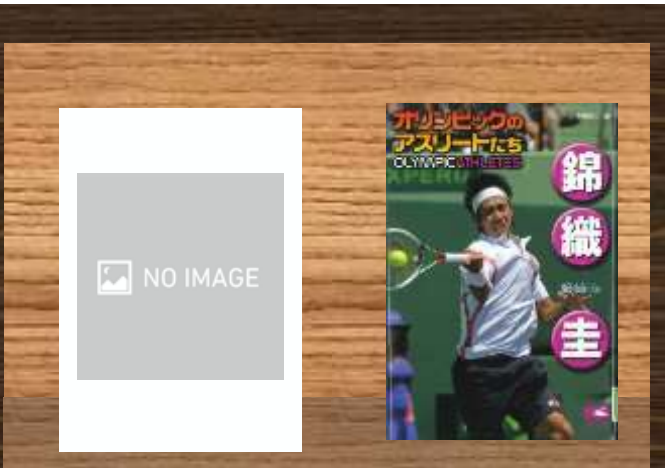
783

2014年に話題となった錦織圭選手が、どのように育ってきたのかがわかる一冊。
テニスを知らない人でも、分かりやすく書かれているので読みやすいです。

『ひかりうりのぴかこさん』
松山円香/著 佼成出版社

E マツ

月のでない暗い夜、ぴかこさんは海の底のお店を閉めてからひかりを売り歩きます。ぴかこさんを呼ぶのはどんな動物たちでしょう？
ねむる前にゆっくり読みたいお話です。



『ものだま探偵団 ふしぎな声のする町で』
ほしおさなえ/作 くまおり純/絵 徳間書店

ものにやどったタマシイの音が聞こえる、少女2人のたんていものがたり。
続きの『駅のふしぎな伝言板』も、きっと読みたくなりますよ！

913

ホ